

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2016-523258(P2016-523258A)

【公表日】平成28年8月8日(2016.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-047

【出願番号】特願2016-521847(P2016-521847)

【国際特許分類】

C 0 7 D 487/14 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/26 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 487/14 C S P

A 6 1 K 31/519

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/26

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月29日(2018.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 2】

方法IIIの工程(1)の塩結晶は、(1)塩基、アニリン、パラジウム触媒およびリガンドの存在下、溶媒中で(6 a R, 9 a S) - 3 - クロロ - 2 - (4 - (6 - フルオロピリジン - 2 - イル)ベンジル) - 5 - メチル - 5, 6 a, 7, 8, 9, 9 a - ヘキサヒドロシクロペンタ[4, 5]イミダゾ[1, 2 - a]ピラゾロ[4, 3 - e]ピリミジン - 4(2 H) - オンを攪拌し；(2)有機層を分離し；(3)工程(2)で得られた溶液へ、所望により溶媒中の、酸を添加し、そして工程(3)で得られた混合物を攪拌して、目的の塩を得ることにより製造し得る。工程(1)の有用な塩基、パラジウム触媒、リガンドおよび溶媒は、方法IIIにおいて先に定義している。工程(2)の有用な酸は、方法Iにおいて先に定義している(例えば、フマル酸、リン酸、酒石酸(例えば、L - 酒石酸)、メタンスルホン酸ならびに安息香酸)である。